

# 第七十回県川柳大会選考結果

## 特別選 「雑詠」

### ◎人 位

あじさいのむねをさわってきただしょう

蓬田 むさし

【評】「はい、そうです」と答えてしまいそうです。

書き方が新しく、全部がひらがな表記なのもよか

つたです。

### ◎佳 作 (20句)

こんこんプシュー抜いて下さい僕の栓

弘前 内山 孤遊

チラシから今日のワタシを渡される

黒石 岩崎 雪洲

青森の形で眠る猫といる

青森 赤平くみこ

スカイツリーがゴジラの鼻に突き刺さる

青森 滋野 さち

雪だるま僕は僕はと起き上がる

青森 種市みどり

また桜またねぶたままた林檎 僕

弘前 内山 孤遊

夜半の月おとなの味になりました

つがる 鳴海 賢治

母だから何度も掲げランプの灯

青森 吉見 恵子

たくさんの涙の跡がある月だ

黒石 吉田 吹喜

絵の具箱抱いてお嫁に参ります

蓬田 坂本 勝子

### ◎天 位

父さんはふりかけだった旨かった

青森 野沢 省悟

【評】「父さん」がふりかけなら、「母さん」は白

いごはんですね。まずいふりかけはありません

が、「旨かった」に救われます。

### ◎秀 逸 (5句)

そら豆のはるかかなたで泣きなさい

弘前 千島 鉄男

れつとうかんれつとうかんと響く雨

東北 井上 健蔵

夕焼けの薄いところは姉さんか

青森 福井 陽雪

静かに剥がすから何も終わらない

青森 菊池 京

ヨーヨーのワタシいつかは破裂する

五所川原 佐藤寿見子

### ◎地 位

こおろぎの羽音で介護するからね

弘前 千島 鉄男

【評】こおろぎが「鳴く」ではなく「羽音」とし

たのが新鮮。「介護」という言葉が、句を深くし

ています。

特別選「雑詠」

這つてでもなんて言い出す蟬の殻

青森 熊谷 冬鼓

君は君僕は僕ですサヨウナラ

十和田 佐々木銀湖

鉛筆の研がない方で考える

青森 三浦 敬光

元気です人間らしくしています

大鰐 香田 龍馬

綿毛まで待たず迎えに来て欲しい

弘前 船水 葉

オルゴール止まったところから砂丘

東京 藤田めぐみ

もういちど会いたい人はみんな風

弘前 高瀬 霜石

踏まないで下さいぼくの魂を

青森 寺田 功

あれこれと悩んだ末の桃の種

むつ 高橋 星湖

春大根いびきをかいて地に育つ

深浦 野呂 吞舟

宿題 「ルール」

◎秀 逸 (5句)

魚から教えてもらおう魚釣り

手懐けたルールに足を掬われる

熊谷 冬鼓 氏

青 森 三浦 敬光

佐 井 渡邊 寂隆

三浦 蒼鬼 氏

人に会う時には人になりなさい

微兵制そんな時代はもう御免 つがる 濱山 哲也

(二氏共同選)

黒 石 岩崎 雪洲

ジョーカーを二枚持つてる冷奴

非正規雇用 黄色い線の内側で

青 森 野沢 省悟

青 森 菊池 京

交差点父の輪ゴムが効いている

熊谷 冬鼓 氏 選

普通というメジャーでぼくが計られる

黒 石 岩崎 雪洲

青 森 尾形せいじ

黙秘権ずるい女といわれても

◎天 位

月が出るファールラインのかなたから

五所川原 櫛引八千代

第一条 比較をしてはいけません

滋 賀 徳永 政二

風向きを変えるルールを組み立てる

東 京 伊藤 良彦

黒 石 柳田 健二

道草やルールブックにない虹だ

◎地 位

◎佳 作 (25句)

四捨五入すると揺らいでくるルール

ルールはひとつ自分を好きになりなさい

露草に咲いてこの世で逢う掬

む つ 高橋 樟

五所川原 沢田百合子

八 戸 笹田かなえ

満月も監視カメラもドライアイ

いくつもの扉きみへと届くため

◎人 位

東 北 井上 健蔵

青 森 吉見 恵子

ルールブックこころぶれない石である

泣きなさいルール気にせず泣きなさい

影武者がルール違反の手を洗う

鶴 田 松山 芳生

青 森 佐藤 武

青 森 種市みどり

縦割りのルールが首に絡み付く

青 森 鈴木みさを

ルール無視承知で次の策をねる

宿題「ルール」

ごきげんよう私を縛るものがない

青 森 福田 文音

三浦 蒼鬼 氏 選

慟哭はルール違反になります

黒 石 三浦ひとは

鳳仙花ぽんと弾けるのもルール

弘 前 齊藤 焔

◎天 位

人に会う時には人になりなさい

黒 石 岩崎 雪洲

半開きの傘で守秘義務漏れている

黒 石 三浦 蒼鬼

母ちゃんの一言それが全てです

弘 前 稲見 則彦

◎地 位

約束を守る夜明けの白を着て

先約をキャンセルすると言う薊

青 森 渡邊こあき

青 森 福井 陽雪

非正規雇用 黄色い線の内側で

青 森 菊池 京

子よ妻よ管なら無用だよ 頼む

弘 前 高瀬 霜石

◎人 位

縦割りのルールが首に絡み付く

青 森 鈴木みさを

人を恋う僕には僕の不文律

青 森 新山風太郎

次走者の位置でバトンを待っている

鶴 田 工藤まさひろ

◎秀 逸 (5句)

食卓の真ん中でんとマヨネーズ

青 森 鈴木 貴子

道草やルールブックにない虹だ

青 森 前田 悠遊

影武者がルール違反の手を洗う

青 森 種市みどり

ルールから外れてしまった黄金虫

む つ 高田寄生木

真ん中に立てば独りというルール

五所川原 成田 我楽

ルールはひとつ自分を好きになりなさい

五所川原 沢田百合子

月が出るファールラインのかなたから

滋 賀 徳永 政二

ジョーカーを二枚持つてる冷奴

青 森 野沢 省悟

宿題「ルール」

手懐けたルールに足を掬われる

佐井 渡邊 寂隆

太陽の絵文字背中で発芽する

蓬田 坂本 勝子

箸一本ルールがあつた台所

弘前 須郷 井蛙

黙秘権ずるい女といわれても

五所川原 櫛引八千代

脳味噌の隙間を埋めるパスワード

青森 神 千巖

第一条 比較をしてはいけません

東京 伊藤 良彦

咲いて散るだけのルールが難しい

弘前 斉藤 昴

あの世へのルールは知らず蠅叩く

青森 吉見 恵子

さよならのきめごと笑顔見せてから

黒石 岩崎眞里子

普通というメジャーでぼくが計られる

青森 尾形せいじ

神水の方程式で湧くへドロ

黒石 千葉 風樹

十八歳のルールブックがよく弾む

青森 工藤 青夏

伝授する由緒正しい笑い方

黒石 北山まみどり

結論を先に言うのがルールです

青森 熊谷 冬鼓

泣きぼくろルール違反じゃないですか

八戸 笹田かなえ

風向きを変えるルールを組み立てる

黒石 柳田 健二

ルールブックこころぶれない石である

鶴田 松山 芳生

## 宿題「溺れる」

菅田かなえ氏

千島鉄男氏

(二氏共同選)

## ◎秀逸(5句)

溺れやすい二つの耳を持ち歩く

青森 小野 五郎

プールの真ん中にテロが立っている

青森 赤平くみこ

君が溺れたシーツの波が俺を呑む

青森 千葉かほる

回転椅子大波小波寄せてくる

黒石 柳田 健二

誰が溺れたのだろう濡れている項

黒石 三浦 蒼鬼

沈黙に溺れてしまうティーカップ

黒石 北山まみどり

菅田かなえ氏選

レモンがりり高波にさらわれたつけ

東京 藤田めぐみ

銃持てばぼくでもジャイアンに勝てる

弘前 高瀬 霜石

◎天位

その川を出て逃げなさいオフェーリア

五所川原 沢田百合子

軽トラのじいちゃんが行くひまわり畑

青森 野沢 省悟

溺れたのでエラ呼吸に切り替えます

青森 森 雄岳

諦めを浮き輪に生きてきたうなじ

青森 熊谷 冬鼓

◎地位

持たされたバケツの水が満ちてくる

弘前 千島 鉄男

## ◎佳作(25句)

図書館にごろごろ夏が溺れてる

弘前 阿部 治幸

暮れ色の街 底なしの金魚鉢

青森 菊池 京

あいにくと羽は一枚だけですが

黒石 北山まみどり

向日葵に溺れ科白を失った

つがる 鳴海 賢治

◎人位

皿洗うこの世に溺れないように

滋賀 徳永 政二

溺れたって誰も助けに来ませんよ

蓬田 むさし

にんげんを解く黄昏の砂時計

青森 吉見 恵子

ペディキュアをこぼした部屋のなまぬるし

弘前 千島 鉄男

心療内科でもらうひと月分の薬

つがる 濱山 哲也

太宰の死誰も疑い挟まない

青森 前田 悠遊

とろろめし昔話に溺れそう

青森 前田 悠遊

雑踏で溺死しているクロマグロ

蓬田 むさし

せんりゅうの底無し沼がおもしろい

黒石 千葉 風樹

人間の海で浮輪をはずせない

五所川原 櫛引八千代

溺れるの五段活用蝉しぐれ

青森 熊谷 冬鼓

ドンブラコ桃は溺れず流れつく

むつ 高橋 星湖

水鏡映るわたしが溺れてる

青森 寺田 功

溺れても辿り着きたいおぼろ月

五所川原 白川 莫

アップアップしてる地球が見えますか

青森 工藤 青夏

千島 鉄男 氏 選

◎天 位

ニンゲンは無口な藁と浮いている

黒石 岩崎 雪洲

◎地 位

溺れやすい二つの耳を持ち歩く

青森 小野 五郎

◎人 位

溺れても辿り着きたいおぼろ月

五所川原 白川 莫

◎秀 逸 (5句)

溺れ溺れてこの世の波の底に居る

青森 森 雄岳

あつぷあつぷと言葉の海の花ハコベ

黒石 岩崎眞里子

心療内科でもらうひと月分の藁

つがる 濱山 哲也

GPSだらけの街で溺れている

青森 滋野 さち

欲をまだ捨てきれずいる夜のパズル

むつ 高田 和子

◎佳 作 (25句)

ほうれい線に無数の溺死体がある

黒石 三浦 蒼鬼

溺れないように繋いでいるご縁

青森 渡邊こあき

軽トラのじいちゃんが行くひまわり畑

青森 野沢 省悟

皿洗うこの世に溺れないように

滋賀 徳永 政二

溺れても浮き輪になれる笑い上戸

青森 神 千巖

愛一滴僕が溺れた天の川

青森 種市みどり

レモンがりり高波にさらわれたつけ

東京 藤田めぐみ

溺れても溺れなくても非常口

青森 福田 文音

宿題「溺れる」

金魚ぶかぶか孤独の檻に浮いている

岩手 野口 一滴

人脈に溺れて誰も居なくなる

青森 三浦 敬光

神の手の中で溺れているヒト科

大鰐 香田 龍馬

美に溺れ滅びるもよし沙羅双樹

五所川原 沢田百合子

沈黙に溺れてしまうティーカップ

黒石 北山まみどり

鳥獣戯画の森におぼれているわたし

青森 尾形せいじ

浮遊する瓦礫は溺れてはいない

五所川原 成田 我楽

草いきれどこかでわたし溺れそう

弘前 稲見 則彦

図書室で溺れかけてる少年期

むつ 高橋 星湖

きらぎらの夕陽に溺れかけてゆく

鶴田 松山 芳生

アップアップしてる地球が見えますか

青森 工藤 青夏

日がな一日うつつを抜かすスマホ族

青森 太田 久

孤独です指切りしても抱かれても

青森 千葉かほる

夕焼けに溺れる 泣かないと決めて

八戸 笹田かなえ

幸福におぼれてしまうネックレス

むつ 高田寄生木

17才レモンの恋に溺れた日

青森 三浦 清雪

まっすぐに進んで落ちた泥の海

青森 村上あつこ



宿題「ふにゃふにゃ」

◎秀 逸（5句）

口に出た言葉が蛇になつてゆく

東北 井上 健蔵

悩んで悩んでエイッて押せばところてん

弘前 内山 孤遊

気ままに生きてパンツのゴムが伸びたまま

五所川原 櫛引八千代

力いっぱいつかんだ藁がふやけていた

青森 滋野 さち

広げたら産毛だらけの羽根でした

五所川原 佐藤寿見子

ふにゃふにゃでよかつた昭和を生き抜いた

青森 野沢 省悟

蒟蒻の裏は天使の尻である

黒石 三浦 蒼鬼

言い負けてなおさら美味しい心太

東北 井上 健蔵

懺悔するたびに背骨がとろけ出す

黒石 柳田 健二

水鏡老樹もゆれて立つ岸辺

青森 野呂 尚史

脱いだ時くらいは棒になりなさい

黒石 北山まみどり

政治家になるため人をやめました

つがる 濱山 哲也

八木田幸子 氏

野沢 省悟 氏

（二氏共同選）

八木田幸子 氏 選

◎天 位

締切りが迫る太宰の二日酔い

青森 三浦 敬光

◎地 位

パン生地の手触りがする妥協案

八戸 田鎖 晴天

◎人 位

カマキリの斧九条しかと護れるか

青森 尾形せいじ

◎佳 作（25句）

骨抜きにされた話は聞きやすい

むつ 高橋 樟

なめくじの詫び一筆を信じよう

岩手 野口 一滴

畳まれた魂を解く引き潮だ

青森 神 千巖

猫といる勿忘草の咲く時間

八戸 笹田かなえ

芯の無い男が風に試される

弘前 福士 慕情

野沢 省悟 氏 選

着ぐるみの中で生活しています

黒石 北山まみどり

乗った話固まらない豆腐

青森 渡邊こあき

◎天 位

再稼動も避難解除もふにやふにやだ

青森 熊谷 冬鼓

リベンジの機を窺っているクラゲ

青森 工藤 青夏

青森 前田 悠遊

◎佳 作(25句)

ガラス瓶ふにやふにやみんな焼けました

五所川原 成田 我楽

◎地 位

絵に描いた餅のひとつを食べようか

むつ 高田寄生木

歯ごたえは無いが手強い自然体

青森 碧井 溪翠

つがる 鳴海 賢治

リベンジの機を窺っているクラゲ

青森 工藤 青夏

正論の噴火を秘めている産毛

黒石 千葉 風樹

◎人 位

蒟蒻の裏は天使の尻である

青森 千葉かほる

せつせつせつと糞転がしの腰運び

青森 福井 陽雪

黒石 三浦 蒼鬼

雄大な組曲 吊橋が折れる

黒石 千葉 風樹

ふにやふにやの親あり児童相談所

弘前 阿部 治幸

力いっぱいつかんだ糞がふやけていた

青森 滋野 さち

三代目きみの自主性どこいった

つがる 鳴海 賢治

◎秀 逸(5句)

最後尾に待機児童が立っている

症候群から一本の芽が伸びる

青森 菊池 京

ふにやふにやの態度は僕の特許です

弘前 稲見 則彦

コンニャクを滑らせている夫婦箸

鶴田 工藤まさひろ

クリオネほどの遊泳に癒される

青森 三浦 敬光

パン生地の手触りがする妥協案

八戸 田鎖 晴天

広げたら産毛だらけの羽根でした

五所川原 佐藤寿見子

宿題「ふにゃふにゃ」

乗った話固まらない豆腐

青森 渡邊こあき

遠い日をしみこませてる抱き枕

黒石 岩崎真里子

政治家になるため人をやめました

つがる 濱山 哲也

未だ解脱出来ぬかオーイちぎれ雲

青森 山本 弘志

手のひらに固まりきれぬままの夢

五所川原 櫛引八千代

口を出た言葉が蛇になってゆく

東北 井上 健蔵

骨抜きにされた話は聞きやすい

むつ 高橋 樟

赤ちゃんの肌からもうエネルギー

弘前 須郷 井蛙

優しさにふれて立てなくなるわたし

南部 八木田幸子

男の骨抜いて女のサスペンス

青森 太田 久

ふにゃふにゃの親あり児童相談所

弘前 阿部 治幸

葦一本もうふにゃふにゃはしておれぬ

弘前 齊藤 苺

早く丸めてふにゃふにゃ思い出す前に

青森 赤平くみこ

昨日と同じ顔ふにゃふにゃと洗う

五所川原 成田 我楽

ふにゃふにゃの顔だ充電しに行こう

蓬田 むさし

ふにゃふにゃはさみしいときに笑います

滋賀 徳永 政二

ふにゃふにゃのプライドだけでもってます

青森 前田 厚兵

## 宿題「寝耳に水」

岩崎 雪洲 氏

高田寄生木 氏

(二氏共同選)

## ◎秀 逸(5句)

活断層の真上がリフォームの我が家

弘前 千島 鉄男

宅配便で届いてました桃太郎

五所川原 沢田百合子

雨乞いの途中で割れる金魚鉢

黒石 北山まみどり

洗面器から海警局の船

青森 小野 五郎

含羞草恨みを買っていたなんて

青森 碧井 溪翠

病院のトイレで会ったブルータス

つがる 濱山 哲也

友が逝く留守電ポンと押すように

東北 井上 健蔵

釈迦尊の腰に湿布の跡がある

青森 神 千巖

背もたれがぼきんと折れたひとつの計

弘前 齊藤 岳

控え目のジョークに神が滑り込む

鶴田 松山 芳生

同窓会今さら好きと言われても

青森 里村みつこ

新月の大地にそつと秘話を捨て

弘前 辻口風来坊

子には子の歩幅があつて振る反旗

黒石 柳田 健二

自己主張神は見捨てぬ少年期

青森 新山風太郎

貞淑な妻が付けてたエンマ帳

青森 山本 弘志

屑籠に捨てるみたいだに離婚とか

青森 吉見 恵子

血をつなぐ猫が突然迷い込む

五所川原 成田 我楽

## ◎佳 作(25句)

天皇の隠居願いにカンパイ

青森 三浦 敬光

解禁日今日とは知らなかった鮎

八戸 田鎖 晴天

親子熊保育所を見に来たと云う

むつ 高橋 樟

血をつなぐ猫が突然迷い込む

五所川原 成田 我楽

## ◎人 位

突然の悲報肥大になるきうり

青森 渡邊こあき

サプライズがあるから明日も目覚めよう

青森 工藤 青夏

## ◎地 位

物識りでタフで…それでは黙禱始め

青森 熊谷 冬鼓

離婚届一枚薄っぺらですね

弘前 内山 孤遊

お別れにもらった主演女優賞

五所川原 佐藤寿見子

同じ名で勝手に歩く悔み欄

青森 鈴木 貴子

訃報来る どこかへ毬の転がって

八戸 笹田かなえ

青空に染まったままで来た訃報

黒石 三浦ひとは

青空をぎざぎざにした痛告知

青森 鈴木みさを

何もかも景色が変わる友が病む

青森 福田 文音

家中をてんでこまいにするカルテ

青森 福井 陽雪

水平線がほうれい線になっていた

青森 野沢 省悟

枕して銀河の汽笛聞きました

岩手 野口 一滴

高田寄生木 氏 選

◎天 位

背もたれがぼきんと折れたひとつの訃

弘前 斉藤 焔

◎地 位

解禁日今日とは知らなかった鮎

八戸 田鎖 晴天

◎人 位

何もかも景色が変わる友が病む

青森 福田 文音

◎秀 逸 (5句)

病院のトイレで会ったブルータス

つがる 濱山 哲也

こめかみがまさかまさかとこげている

黒石 三浦 蒼鬼

開け放つ窓に深夜のゲリラ雨

佐井 渡邊 寂隆

空き缶を蹴ってしまった残留派

むつ 高橋 樟

原発がゴジラになる日きつと来る

青森 野沢 省悟

◎佳 作 (25句)

僕の死が生きてる僕に告げられる

大鰐 香田 龍馬

生涯を狂わす深夜のベルだった

青森 山本 弘志

あの世まで10分間の深呼吸

蓬田 坂本 勝子

時効まで地下にもぐったハリネズミ

鶴田 工藤まさひろ

明日から来なくていいという不況

八戸 豊巻つくし

僕のホタル死んで八方闇になる

岩手 野口 一滴

約束は無かったことにと捨て台詞

青森 野呂 尚史

同窓会今さら好きと言われても

青森 里村みつこ

宿題「寝耳に水」

活断層の真上がリフォームの我が家

弘前 千島 鉄男

反戦歌うたって被告人になる

青森 福井 陽雪

定年の日離縁を妻が申しでる

五所川原 佐藤ぶんじ

鍵ひとつさよならだけの置手紙

青森 前田 厚兵

出し抜けに婚活中と言った祖父

青森 鈴木 貴子

耳に栓してもムンクの叫び声

八戸 笹田かなえ

突然の訃報今夜は涙雨

青森 村上あつこ

子には子の歩幅があつて振る反旗

黒石 柳田 健二

手水からポタポタ漏れるヒトゲノム

青森 神 千巖

振りきったメトロノームといる夜明け

青森 熊谷 冬鼓

窓際に慣れた頃にはまた辞令

五所川原 白川 莫

雨乞いの途中で割れる金魚鉢

黒石 北山まみどり

とつぜんの訃報耳鳴りひどくなる

五所川原 櫛引八千代

訃報来る確かおとし死んだはず

青森 小野 五郎

昨日まで飲んだ友の訃が届く

弘前 福士 慕情

忽然と消えてしまった親会社

青森 鈴木みさを

青空に染まったままで来た訃報

黒石 三浦ひとは

席題A 「うろつく」

工藤まさひろ 氏

田鎖 晴天 氏

(二氏共同選)

工藤まさひろ 氏 選

◎秀 逸 (5句)  
徘徊が続く写楽になってゆく

蓬田 むさし

うろつく山をうろつく川を知らないか  
孤独また埋めに眠らぬ街を行く  
滋賀 徳永 政二

電飾の街でポックリ死を願う

青森 山本 弘志

本の虫うろつく森で実を結ぶ  
青森 種市みどり

送り絵の赤がうろつく胸の奥

五所川原 成田 我楽

会いたいと会いたくないと迷う足  
青森 福田 文音

秋晴れの日に飼い猫が戻らない

弘前 千島 鉄男

脱皮した少女うろつく始発駅  
青森 渡邊こあき

◎天 位

毛虫いっぴき天狗の鼻を往き来する

弘前 千島 鉄男

ご案内します地獄の三丁目

東北 井上 健蔵

ひとひらになって戻った箱の中  
五所川原 白川 莫

どの風にのろうかうろろう模索する  
黒石 岩崎真里子

◎地 位

別れとも知らずに父の肩車

青森 新山風太郎

◎佳 作 (25句)

大空にいじめはいない千切れ雲

青森 三浦 敬光

運不運背中合わせのやじろべえ  
八戸 豊巻つくし

空耳に行ったり来たりする浜辺

藤崎 佐藤 雅秀

たそがれの途中で夢を引き寄せる  
弘前 辻口風来坊

鶴田 松山 芳生

◎人 位

母の掌の中でうろつく鬼がいる

五所川原 櫛引八千代

矢印が消えて歩幅が狂いだす

弘前 福士 慕情

台風が逆走してる温暖化

十和田 佐々木銀湖

迎え火が無くて先祖が還れない

弘前 船水 葉

場違いに気づいた熟女時計見る

五所川原 宮崎貴己子

半額のタイムセールを待つ歩幅

黒石 三浦ひとは

人生の袋小路が長過ぎる

青森 鈴木みさを

狼狽の海に黙禱終わらない

黒石 三浦 蒼鬼

特急で来た道鈍行で帰る

つがる 濱山 哲也

もうみんな書けなくなったボールペン

八戸 笹田かなえ

定点が見えぬ少年期の地図に

青森 工藤 青夏

ポケモンGOバーチャルの夜の好奇心

十和田 佐々木銀湖

亡母求めさ迷う童女と化した今

青森 鈴木みさを

そわそわと夕ぐれ待って父が出る

青森 可井さくら

徘徊と間違われた朝の散歩

青森 柴田 重虎

田鎖 晴天 氏 選

◎天 位

孤独また埋めに眠らぬ街に行く

青森 種市みどり

◎地 位

樹海ふらふら一瞬亡母の声を聴く

南部 八木田幸子

◎人 位

休日が増えてうろつく家の中

大鰐 香田 龍馬

◎秀 逸 (5句)

増えてきたのか台風の認知症

青森 野沢 省悟

毛虫いっぴき天狗の鼻を往き来する

弘前 千島 鉄男

品定め行ったり来たりまた今度

青森 寺田 功

カランコロン列島あまた認知症

弘前 内山 孤遊

ポケモンGOバーチャルの夜の好奇心

十和田 佐々木銀湖

◎佳 作 (25句)

出口かすかうろつく足をなんとしよう

青森 尾形せいじ

どの風にのろうかうろろう模索する

八戸 豊巻つくし

空耳に行ったり来たりする浜辺

藤崎 佐藤 雅秀

パトカーがうろついていて仕事する

青森 寺田 功

矢印が消えて歩幅が狂いだす

弘前 富士 慕情

うろついて補導されてる濡れ落葉

青森 種市みどり

酔うと糸の切れた凧です我が旦那

五所川原 佐藤ぶんじ

大都市でうろつく僕は田舎者

深浦 野呂 吞舟



席題A「うろつく」

脱皮した少女うろつく始発駅

五所川原 白川 莫

恋しくてうろつく余熱もて余し

青森 対馬 閑子

勢いで家出たものの土手の道

弘前 船水 葉

うろろと愛を探しているホタル

岩手 野口 一滴

母の掌の中でうろつく鬼がいる

五所川原 櫛引八千代

ハローワークの窓をうろつく蛍たち

弘前 斉藤 昴

魂がうろつくふるさとの山野

青森 対馬 閑子

公園にスマホ蛍が群れている

黒石 岩崎 雪洲

冥界をうろつき亡父に戻される

弘前 福士 慕情

うろついちやいない漂流してるだけ

蓬田 むさし

あの世でもあなたのそばをうろつくわ

五所川原 沢田百合子

飢える熊どんぐりないとうろついで

弘前 阿部 治幸

迎え火が無くて先祖が還れない

弘前 船水 葉

うろろと三途の川の前辺り

青森 村上あつこ

迷い箸鍋をはさんで君が居る

青森 福田 文音

うろついて止った指と腐れ縁

佐井 渡邊 寂隆

迷い子です君に叱られたいのです

五所川原 沢田百合子

席題B 「本音」

高瀬 霜石 氏

工藤 青夏 氏

(二氏共同選)

◎秀 逸 (5句)

金メッキ銀メッキさびしくはないか

八戸 笹田かなえ

後ろから観ると地蔵も疲れてる

東北 井上 健蔵

聖書から嫌いな奴を落としたい

弘前 千島 鉄男

今までの恋は乗り継ぎ列車なの

藤崎 佐藤 雅秀

ポケットにしまう本音のようなもの

黒石 岩崎眞里子

きみに裏返えされて吐いている毒

弘前 内山 孤遊

快盗ルパンが本音を持って行っちゃった

青森 野沢 省悟

本当は返りたくないブーメラン

蓬田 むさし

恋人の本音で鬼になりました

五所川原 沢田百合子

じゃがいもの芽を抉る正しい心

八戸 笹田かなえ

昭和って絶対たまごかけごはん

黒石 岩崎 雪洲

にんげんを丸出しにする太いペン

弘前 斉藤 荔

ロボットが僕の本音を知っている

青森 太田 久

本音ばかり吐き変人にされている

五所川原 佐藤ぶんじ

胸底のほかに居場所のない本音

八戸 田鎖 晴天

僕たちの罪はそんなに黒くない

青森 小野 五郎

◎地 位

今日ほどの立前を着て出ようかな

大鰐 村井 規子

◎人 位

もえつきる前にリストラされました

青森 前田 厚兵

◎佳 作 (25句)

死んじゃだめだと杉下右京から電話

黒石 千葉 風樹

もっと優しくすれば良かった母親に

弘前 船水 葉

立前を重ねて出来たミルフィーユ

青森 千葉かほる

ストローの中に止まった不発弾

青森 三浦 敬光

どこまでが霧どこですか君の声

青 森 渡邊こあき

工藤 青夏 氏 選

女が歳をとるって大変なの

黒 石 吉田 吹喜

◎天 位

本音言えなくてビートルズを歌う

本音言えなくてビートルズを歌う

五所川原 成田 我楽

五所川原 成田 我楽

物言わぬへの字が哀を滲ませる

岩 手 野口 一滴

◎地 位

聖書から嫌いな奴を落としたい

内緒ですあなたはきつと笑い出す

む つ 高橋 星湖

弘 前 千島 鉄男

本音出ぬようたんとウコン飲んでいく

五所川原 佐藤寿見子

◎人 位

あっちにもこっちにもブラック・ボックス

政治家は詐欺師のようだ誰か言え

つがる 濱山 哲也

弘 前 高瀬 霜石

背開きにされて本音をあばかれる

青 森 寺田 功

◎秀 逸 (5句)

言えませんイライラの元貴方だと

五所川原 宮崎貴巳子

背開きにされて本音をあばかれる

青 森 寺田 功

お前なんかくたばつちまえ夏の雲

青 森 村上あつこ

真打のスペアタイヤがパンクした

青 森 菊池 京

人間が知らない森にある本音

鶴 田 松山 芳生

ストローの中に止まった不発弾

青 森 三浦 敬光

弱虫で引用文を口に塗る

藤 崎 佐藤 雅秀

女が歳をとるって大変なの

黒 石 吉田 吹喜

◎佳 作 (25句)

本音抱き朝が来るまで眠るふり

青 森 里村みつこ

パンドラの箱を覗いている本音

む つ 高橋 樟

盛り付けの皿だけやたら褒められる

弘 前 福士 慕情

神棚に本音を上げておく才知

十和田 佐々木銀湖

返信に胸の真珠をひとつ置く

青 森 吉見 恵子

うっかりと吐いた本音に躓いて

黒 石 三浦ひとは

恐れずに湯沸し室にいらっしやい

黒 石 北山まみどり

席題B「本音」

今日ほどの立前を着て出ようかな

大 鰐 村井 規子

原発の隣に住んでみる総理

蓬 田 むさし

恋人の本音で鬼になりました

五所川原 沢田百合子

気がつけば死角に拍手してしまふ

青 森 新山風太郎

きみに裏返えされて吐いている毒

弘 前 内山 孤遊

もえつきる前にリストラされました

青 森 前田 厚兵

本音まだ吐けないでいる青リンゴ

青 森 太田 久

一点のくもりもないと言う金魚

青 森 熊谷 冬鼓

吐き出した本音で体重軽くなる

青 森 森 雄岳

母卒業言ってみたいな子供らに

青 森 鈴木 貴子

口が裂けても妻には言えぬありがとう

五所川原 佐藤ぶんじ

昭和って絶対たまごかけごはん

黒 石 岩崎 雪洲

どちらとも取れる本音が掴めない

八 戸 豊巻つくし

金メッキ銀メッキさびしくはないか

八 戸 笹田かなえ

胃の中にどンドン溜まるでもしかし

つがる 濱山 哲也

床擦れの背中で濡れている本音

黒 石 三浦 蒼鬼

見栄っ張り自分に克つたことがない

つがる 高橋せい子